はこぶね

日本聖公会　東京教区
聖パウロ教会　にちようがっこう
〒153-0053　目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外266

発行日
2025年
9月7日

今週のお祈り

聖霊降臨後第13主日特祷(特定18)

主よ、どうか主の民に世と肉と悪魔との誘惑に打ち勝つ恵みを与え、清い心と思いをもって、唯一の神に従うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

9月に入りました。まだ暑い日が続いていたり、台風や大雨に悩まされたり…なかなか落ち着かない毎日です。夏休み明けで調子が出ないお友だちもいるかもしれません。日曜学校は毎週日曜日9：30〜、来てね！

今週の聖書　ルカによる福音書　14：25〜33

25 大勢の群衆が付いて来たので、イエスは振り向いて言われた。26「誰でも、私のもとに来ていながら、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命さえも憎まない者があれば、その人は私の弟子ではありえない。27 自分の十字架を負って、私に付いて来る者でなければ、私の弟子ではありえない。28 あなたがたのうち、塔を建てようとするとき、造り上げるのに十分な費用があるかどうか、まず腰を据えて計算しない者がいるだろうか。29 そうしないと、土台を据えただけで完成できず、見ていた人々は皆嘲って、30『あの人は建て始めたが、完成できなかった』と言うだろう。31 また、どんな王でも、ほかの王と戦いを交えようとするときは、二万の兵を率いて進軍して来る敵を、自分の一万の兵で迎え撃つことができるかどうかを、まず腰を据えて考えてみないだろうか。32 もしできないと分かれば、敵の王がまだ遠くにいる間に、使節を送って和を求めるだろう。33 だから、同じように、自分の財産をことごとく捨て去る者でなければ、あなたがたのうち誰一人として私の弟子ではありえない。」

聖書からのメッセージ　司祭 橋本克也

「どんな時でも、あなたは神さまに愛されて生かされているのだ」と教えているのは聖書のみ言葉です。誰でも自分らしく喜んで生きたいのに、困難や不安を抱えることもあります。十字架のイエスさまは、その時にいつも一緒にいてくださる救い主のお姿なのです。イエスさまを信頼する生き方とは、「いのち」を貴んで弱さを大切にして、困難とも向き合いながら、愛されている本当の自分と出会う日々の歩みなのではないかと思います。